

正月にたこ揚げをする風景は年始の風物詩として定着しているが、都市部などでは近年あまり見られなくなった。家族が集まる年末年始の機会に、みんなで作って遊んでみてはどうだろうか。

正月の風物詩

家族でたこ揚げ楽しもう



たこ揚げを楽しむ子どもら＝1月、姫路市大塩町汐崎1

正月のたこ揚げはかつて、江戸周辺だけの風習だったとされる。全国的には安定した風が吹く春、特に「端午の節句」の前後に子どもの健やかな成長を願って、縁起物が描かれたたこを揚げる風習が各地で見られる。

「日本の風の会」（東京都中央区）事務局長の福岡正巳さんによると、江戸の

先取り 季語 キーワード

- 自分で絵を描き手作り
- 電線や樹木ない場所で

庶民の間の遊びとして爆発的に流行して幕府が繰り返して禁止令を出したが、「正月くらいは」と揚げられるようになったという。元来は「イカノボリ」などと呼ばれ、禁止令に対抗して「タコ」と言い習わすようになったという説もある。「ハタ」と称する地域も。

形は長方形やひし形など個性豊かだ。「九州などはひし形が多く、アジアの影響が見られます」と福岡さん。アファゴニスタンやインドの人々も、似たような形のたこで遊んでいるという。

たこを揚げるときは、電線や樹木などがない広い場所ですること。近くに高いビルなどがあると「風も安定せず、うまく上がらないことがあります」と福岡さん。子どもはたこを引いて後ろを見ながら走る場合が多く、周辺の障害物に気を配り転倒に注意することも必要だ。できれば2人以上で揚げよう。

方向や強さなど風を読むのが大切だ。世界風物館 東近江大風会館（滋賀県東近江市）の鳥居勝久さんは「正面から風を受けると前面の気圧が上がり、背面の気圧が下がります。その気圧差で揚力が生まれ、ぐんぐん上昇します」と原理を説明する。

同館では、親子でも参加できたこ作り体験が人気だ。普段のたこ作りはキットを利用しているが、大だこや変わりだこなどを作るイベントも開催する。自作のたこを作る際はどんな点に注意すればいいだろう。

「まずは大きな紙に、目立つ絵を描きましょう」と鳥居さん。空に揚がると、意外に小さく見えるからだ。のりには、速乾性の木工用接着剤が便利。「たこ」と揚げ糸を結ぶ『糸目』の中心を、空中でぶれないよう左右のバランスが取れる場所、しっかりと結びます。くるくる回るようなら尾の長さを調節する。

鳥居さんは「理科や歴史、体育などたこさんの授業の内容が含まれた面白い遊び。ぜひ家族で楽しんでほしい」と話している。

たこの作り方

材料 和紙など30cm×45cm たこ糸1巻き
たこ骨(竹ひごなど)4本 紙テープなど



(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前】

① たこあげには、どんな場所がよいでしょう。記事の言葉を使って12字以内でまとめましょう。

場所

② たこがあがる原理を説明しているところのはじめとおわりの5字ずつを書きましよう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

③ この記事を読んだ感想を書きましよう。

Large empty rounded rectangular box for writing a response to question 3.

NEEワークシート／小学校高学年～中学校／国語、図工(美術)、朝NEE